



## 7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。  
(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。)

### 動作機能を確認する

1 火災警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。

#### 【テスト機能を使って確認する】

- 2 シンプルを押す(約1秒)、または引きひもを引く(約1秒)。  
●「ビッ、正常です。」が1回鳴り、赤ランプが1回点滅すれば正常です。  
●外部出力は作動しません。

#### 【火災警報音を鳴らして確認する】

- 2 シンプルを約3秒間押す。または引きひもを約3秒間引く。  
●火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、赤ランプが連続点滅すれば正常です。  
●外部出力は作動します。  
●約1分以内に終了した場合は、シンプルを押す引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。  
※1分以内に終了しない場合は、シンプルを押す引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

◆下記の異常などがないか確認できます。

●煙感知部の異常 ●電源異常 ●スピーカーの異常

#### 【正常に作動しない場合は】

故障警告音や交換期限切れ警告音が鳴ったり、火災警報音が鳴らない場合は、販売店(リース取扱店)もしくは最寄りの大阪ガスお客さまセンターにご連絡ください。

【故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない場合があります】

#### ■くるびこ・アイルスとの連動動作を点検する場合

くるびこ・アイルスを安全にご利用いただくために、1ヵ月に1回連動動作の点検を実施してください。

【シンプルを約3秒間押す(または引きひもを約3秒間引く)】

赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、くるびこ・アイルス本体が連動動作した後、OSS 監視センターから電話連絡がある。

いいえ  
正しい  
もう一度シンプルを押すか引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

火災警報器の外部出力異常か、信号線の異常またはくるびこ・アイルス本体の異常が考えられます。OSS 監視センターにご連絡ください。

※くるびこは大阪ガス(株)、アイルスは大阪ガスセキュリティサービス(株)(OSS)のサービスです。「くるびこ」との接続には、くるびこまたはアイルスに別途ご加入いただく必要があります。くるびこ・アイルスとの連動により「火災警報信号」を OSS 監視センターへ通報することができます。

#### ■くるびこ・アイルス以外の外部機器との連動動作を点検する場合

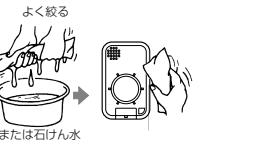
●シンプルを約3秒間押してください。  
または引きひもを約3秒間引いてください。  
●赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、外部機器が連動動作すれば正常です。  
●接続機器の鳴動時間などは接続機器側の説明書を参照してください。

## 8. お手入れのしかた

煙感知部の網にホコリやくもの巣がつくと、正しく感知しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようお手入れをおすすめします。

### 1 警報器を取り外す。

(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)



### 2 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

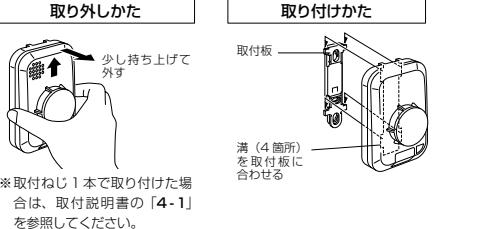
布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。  
このとき、煙感知部の網にふれないように、注意してください。

#### おねがい

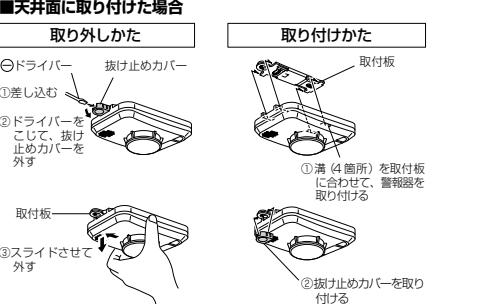
- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。  
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることができます。

## 9. 警報器の取り外し・取り付けかた

### ■壁面に取り付けた場合



### ■天井面に取り付けた場合



## 10. 噴霧式殺虫剤を使用するときは

殺虫剤(くん煙式殺虫剤、加熱蒸散式殺虫剤なども含む)を使用する際は、誤作動のおそれがありますので、警報器を取り外すかポリ袋で覆ってください。噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。また、ポリ袋で覆った場合はポリ袋を取り除いてください。



## 11. 異常時の点検・処置

修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。

下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店(リース取扱店)もしくは最寄りの大坂ガスお客さまセンターにご連絡ください。

#### こんなときは

火災ではないのに火災警報動作する。

#### ここを確認して

調理の煙、浴室からの湯気などが警報器にかかるかもしれませんか?

#### こう処置してください

室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。

#### ――

煙感知部内部に砂やホコリ、虫などが入り込んでいるかもしれません。

#### ――

煙感知部内部に砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。

この火災警報器の交換期限は10年です。警報器本体には、交換期限を西暦と月で記入しています。ご購入時、お取り付け時にご確認ください。交換期限を過ぎて長期間使用を続けたときは、定期点検時に交換期限切れ警告音声を発するようになります。交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な動作をしないおそれがありますので、新しい警報器とお取り替えください。交換期限は保証期間とは異なり、交換期限内であっても保証期間を過ぎている場合は、無料修理はできませんのでご注意ください。(リース契約の場合を除く)。

### ■廃棄について

- 交換期限が過ぎた火災警報器は、販売店(リース取扱店)にて回収いたします。
- 販売店の店頭でも回収しております。

### 火災警報器をお客さままで廃棄される場合(リース品を除く)

- お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
- 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

### この警報器は専用リチウム電池を内蔵しています。

警報器本体を取り外し、以下の要領で専用リチウム電池を取り出してください。

## 12. アフターサービス

この火災警報器の保証期間は、お買い上げ日から5年です(尚、リース契約の場合は、この限りではありません)。リース契約書にて、ご確認ください。保証書内容をよくお読みの後、お買い上げ店、お買い上げ日が記載されている「警報器登録票」または「リース契約書」とともに大切に保管してください。保証期間経過後の故障、電池切れについては、無料修理であります。有料での本体交換となります。要する費用は全てお客様の負担とさせていただきます。

また、交換期限の記入がない警報器は、未登録の場合がありますので、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大坂ガスお客様センターまでご連絡ください。

アフターサービスについてご不明な点がある場合や、引っ越しやお部屋の模様替えなどで火災警報器を移動される場合は、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大坂ガスお客様センターまでご連絡ください。

## 13. 機器交換期限

この火災警報器の交換期限は10年です。警報器本体には、交換期限を西暦と月で記入しています。ご購入時、お取り付け時にご確認ください。交換期限を過ぎて長期間使用を続けたときは、定期点検時に交換期限切れ警告音声を発するようになります。交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な動作をしないおそれがありますので、新しい警報器とお取り替えください。交換期限は保証期間とは異なり、交換期限内であっても保証期間を過ぎている場合は、無料修理はできませんのでご注意ください。(リース契約の場合を除く)。

### ■廃棄について

- 交換期限が過ぎた火災警報器は、販売店(リース取扱店)にて回収いたします。
- 販売店の店頭でも回収しております。

### 火災警報器をお客さままで廃棄される場合(リース品を除く)

- お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
- 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

### この警報器は専用リチウム電池を内蔵しています。

警報器本体を取り外し、以下の要領で専用リチウム電池を取り出してください。

## 14. 登録

この火災警報器は、コンピュータに登録して管理させていただきます。登録は取り付け時またはガスの開栓時にを行い、登録済みの火災警報器には交換期限を西暦と月で記入していますのでご確認ください。

また、交換期限の記入がない警報器は、未登録の場合がありますので、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大坂ガスお客様センターまでご連絡ください。

アフターサービスについてご不明な点がある場合や、引っ越しやお部屋の模様替えなどで火災警報器を移動される場合は、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大坂ガスお客様センターまでご連絡ください。

## 15. 仕様

機器コード	(4) 102-0012型
型名	住宅用火災警報器
鑑定式番号	鑑定第20～18号
電源	専用リチウム電池(CR-AGB/C23P、CR17450E-R-CN26) (DC3V) × 1コ
機器交換期限	10年(電池寿命 約10年※)
感知対象	火災の煙
感知方式	煙式(光電式)
種別	2種
火災報警	「ウーウーカンカンカン火事です火事です」
電池切れ警音	1分おきに「ビッ」音、シンプルを押すと「ビッ 電池切れです 販売店に連絡してください」
警音・警報音	1分おきに「ビッビッビッ」音、シンプルを押すと「ビッビッビッ 故障です 販売店に連絡してください」
故障警音	スイッチを押すと「スイッチを押すと交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」
交換期限切れ警音	スイッチを押すと「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」
火災警報音量	70dB(A) / m以上(鑑定基準)
寸法	幅約80mm × 高さ約129mm × 奥行き約33mm
質量	約130g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度	0°C～+40°C
設置場所	壁面・天井面
外部出力	無電圧±10% (DC30V、100mA以下)・有極性

\* 10年間の寿命を保証するものではありません。温度、湿度、ホコリ量などの使用環境や点検回数(火災警報音回数)などの使用条件によって短くなる場合があります。お買い上げ後10年内であっても保証期間を過ぎている場合の電池切れは、無料修理できませんのでご注意ください。

火事発見時は最寄りの消防署へ通報してください。(電話 119)

### 大阪ガスのお問い合わせ先

大阪リビング営業部 ☎ 550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 ☎ 0120(0)94817

南部リビング営業部 ☎ 590-0973 堺市堺区住吉町2-2-19 ☎ 0120(3)94817

北東部リビング営業部 ☎ 569-8569 高槻市藤の里町39-6 ☎ 0120(5)94817

兵庫リビング営業部 ☎ 650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 ☎ 0120(7)94817

京滋リビング営業部 ☎ 600-8815 京都府下京区中寺粟田町93 ☎ 0120(8)94817

※受付時間は、平日 9:00～19:00、日祝日 9:00～17:00 となっております。

※お電話のかけ間違いのないようお願いします。

※所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

- この商品は煙を感知して警報する機能をもっています。
- この商品は日本消防検定協会の鑑定品です。住宅用が警報器として設置できます。
- この警報器は、火災による煙や湯気、殺虫剤、スプレー、結露、砂、ホコリなどで警報する場合があります。特に殺虫剤(くん煙式・加熱蒸散式も含む)を使用する前に必ず「10.噴霧式殺虫剤を使用するとき」をお読みください。

- この商品は、法律(消防法9条2)で住宅への設置および維持について義務付けられています。お客様までの維持管理をお願いします。
- この商品は、煙感知部の異常や電池切れを検出しして自動的に警告する機能をもっています。警告音やランプの点滅にて注意ください。(「お知らせ機能について」参照)
- 維持管理のために、1ヶ月に1回程度、点検を行ってください。
- また1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。(「定期点検」参照)



## 1 安全上のご注意

施工前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、右記の表示で区分しています。

**！警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

**！注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

### ！警告

- 警報器の取り付け・取り外し時などは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをするおそれがあります。
- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

### ！注意

専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。  
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

## 2 施工される方へのお願い

- お客さまにこの火災警報器を安全に正しくご使用いただくため、取付説明書をよくお読みになり、指定された取り付けを行ってください。
- お客さまのご要望される設置場所、火災警報器の種類が各市町村の火災予防条例に適合しない場合は、お客さまに各市町村の火災予防条例に適合するための設置場所、火災警報器の種類を説明の上、火災予防条例に適合する設置場所、適合する種類の火災警報器を設置いただくよう理解を得てください。  
例えば  
火災予防条例に定める設置場所に火災警報器を設置しない場合  
火災予防条例に定める設置場所で条例に定められていない火災警報器を設置されている場合など
- 取付終了後に、取付説明書にしたがって、動作確認を行ってください。なお、動作不良の場合は交換してください。
- 取付終了後、お客さまへ下記の内容を説明してください。

- 動作確認結果の説明。
- 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書は「警報器登録票」または「リース契約書」とともに保管していただくことのお願い。
- 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
  - 火災警報時のとるべき処置の説明。
  - 動作確認を行い、点検方法、点検頻度(1ヶ月に1回程度および1週間以上留守にされた場合)、およびお客さまにご自身で点検をしていただく必要があることの説明。
  - 電池切れ警告、故障警告が発生する場合。
  - 火災以外で火災警報が発生する場合。
  - 火災警報器の移設、分解の禁止。
- 保証期間がお買い上げ日から5年であること(リース契約時を除く)、交換期限がお買い上げ日から10年であることの説明。
- リースの場合、リース契約書をご本人または配偶者に記入いただき、リースの内容および解約時についての説明。

## 3 取付前の確認

### 3-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個	取付板…1個 (本体に取り付けられています)	外部出力信号コネクター…1本 (くるびこ・アイルス連動用)	引きひも (点検ツマミ付) …1本 (本体に取り付けられています)
専用リチウム電池…1個	石膏ボードピン…5本		
抜け止めカバー…1個	取付ねじ…2本	取扱説明書 (保証書付)…1枚	取扱説明書 (本書)…1枚

別売品

はずれ防止パーツ…1個



### 3-2 取付位置の確認

※設置および維持基準は、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

設置場所の選定は、お客さまとよく相談してお決めください。

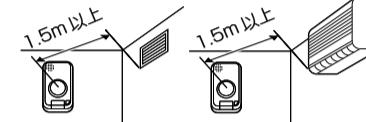
#### △注意

正しい取付位置に取り付けてください。  
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

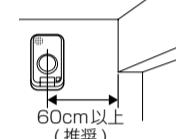
#### 正しい取付場所について

- この警報器は、以下のようないくつかの場所への設置をおすすめします。  
居室、寝室、階段、廊下

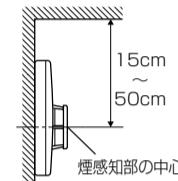
- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



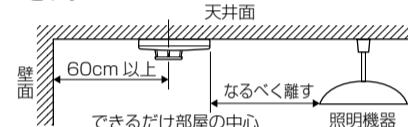
- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。(推奨)



- 警報器のスイッチ(点検、警報音停止兼用)が操作しやすい位置に取り付けてください。



- 天井面に取り付ける場合は、壁やはりから60cm以上離した位置に取り付けてください。



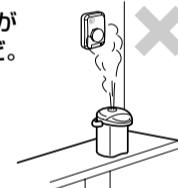
#### 取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、警報器を取り付けないでください。  
誤作動や故障、または感知が遅れる原因となります。

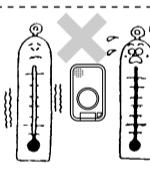
- 浴室、水のかかる場所、水滴がつく場所。  
感電や電気的故障の原因になります。



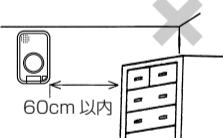
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。



- 温度が0~+40°Cの範囲を超える場所。  
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



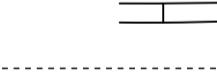
- タンスなどから60cm以内の場所。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。  
警報が遅れます。



- 屋外・屋側。  
屋外・屋側用ではありません。



### 3-3 設置する前に

#### 交換期限の記入

##### 交換期限ラベル

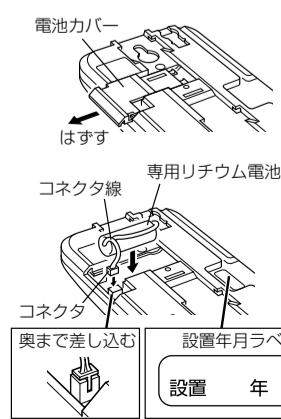
お買い上げ日から10年後(西暦)の同月を記入してください。



#### 専用リチウム電池の取り付け・設置年月の記入

#### △注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタが破損したり、電池がショートする原因になります。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。



裏面に続く

# 4 取り付けかた

取付板は本体に取り付けています。  
最初に警報器から取付板を取り外してください。

## △注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。  
取付強度を保持するため、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。  
万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

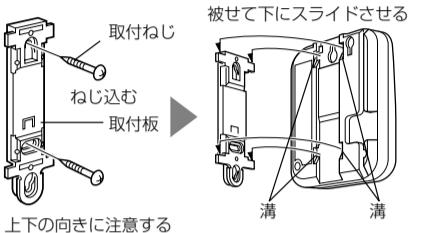
## 4-1 壁面に取り付ける場合

### ■木質壁などの場合

取付ねじ2本で固定することを原則とします。ただし、取付ねじ2本での取り付けについてお客様のご了解を得られない場合は、取付ねじ1本での取り付けもできます。

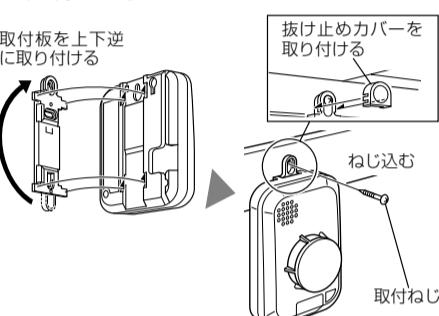
#### 取付ねじ2本で壁面に取り付ける場合

- 取付板を、図のように取付ねじ(2本)で壁面に固定する。



#### 取付ねじ1本で壁掛け取付をする場合

- 取付板を上下逆に取り付ける。
- 取付ねじをねじ込み、抜け止めカバーを取り付けて、取付ねじの頭を隠す。



### ■石膏ボード壁の場合

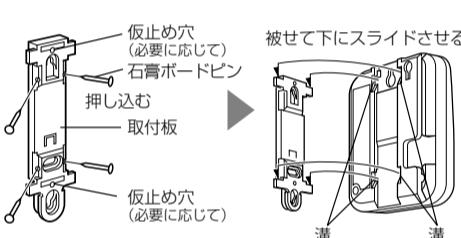
- 取付板を、図のように石膏ボードピン(4本)で壁面に固定する。

#### 〈確認〉

取付板が、壁面に密着していることを確認してください。

※引きひもを取り外してください。  
(引きひもを強く引くと、本体が落下するおそれがあるため、引きひもの取り付けは不可。)

- 警報器の背面にある溝(4箇所)を、取付板に合わせて取り付ける。



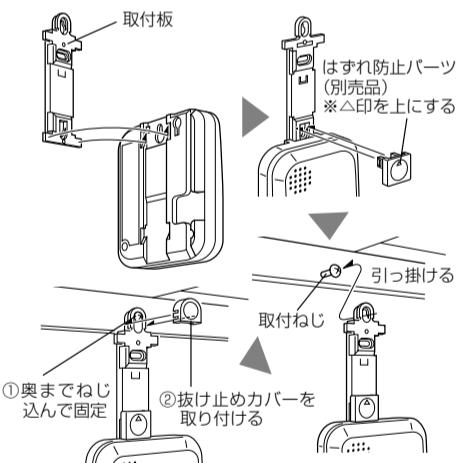
### ■壁面上端に取り付ける場合(天井際の回り縁などにねじ止めする場合)

- 取付板を図のように警報器に取り付け、はずれ防止パーツ(別売品)を取付板に取り付ける。

この方法で取り付けると、天井面から煙感知部の中心までが約17cmになります。

- 回り縁などに取付ねじを数ミリ残してねじ込み、取付板を引っ掛ける。

- 取付ねじを奥までねじ込み、抜け止めカバーを取り付ける。



## 4-2 天井面に取り付ける場合

木質天井面や石膏ボードの天井面では、桟が通っている箇所に取り付けてください。

- 取付板を、図のように取付ねじ(2本)で天井面に固定する。

※取付板の方向で警報器の向きが決まります。事前にお客さまへの確認をしてください。

※天井面への取付には、石膏ボードピンを使用しないでください。

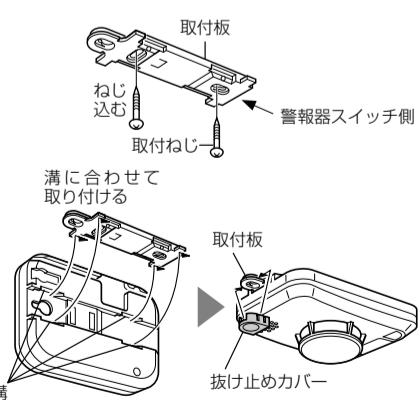
- 警報器の背面にある溝(4箇所)を、取付板に合わせて取り付ける。

- 抜け止めカバーを取り付ける。

#### 〈確認〉

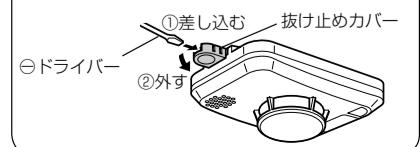
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。

※引きひもを取り外してください。  
(引きひもを強く引くと、本体が落下するおそれがあるため、引きひもの取り付けは不可。)



#### ■抜け止めカバーのはずしかた

図のように「 $\square$ 」ドライバーを使って、取付板から取り外す。



## 4-3 引きひもの取り外し、長さ調節

警報器を木質壁や壁面上端に取り付けた場合は、お客様のご要望をお聞きし、引きひもの取り外しまたは長さ調節をしてください。

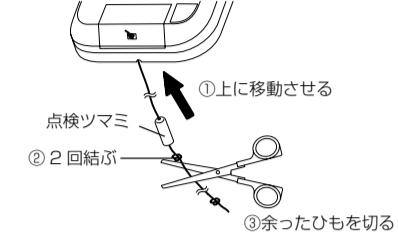
### △警告



警報器を石膏ボード壁または天井面に取り付けた場合は、引きひもを取り外してください。  
引きひもを強く引くと、本体が落下し、お客様がケガをするおそれがあります。

## 引きひもの長さの調節方法

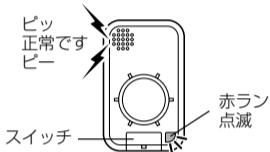
- 点検ツマミを上に移動させる。
- 適当な長さとなる部分で2回結ぶ。
- 点検ツマミの先の余ったひもを切る。



## 動作確認

スイッチを押す(約1秒)、または引きひもを引く(約1秒)。

「ピッ、正常です。ピー」が1回鳴り、赤ランプが1回点滅すれば正常です。  
外部出力は作動しません。



### △警告

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。  
火災や故障の原因となります。

## くるびこ・イルス<sup>\*</sup>との接続方法と連動確認

警報器裏面の外部出力端子に外部出力信号コネクターを接続します。



※くるびこは大阪ガス(株)、イルスは大阪ガスセキュリティサービス(株)(OSS)のサービスです。

「けむりびこ」との接続には、くるびこまたはイルスに別途ご加入いただく必要があります。くるびこ・イルスとの連動により「火災警報信号」を OSS 監視センターへ通報することができます。

- けむりびことくるびこ・イルスの無線送信機との接続は、連動確認が必要です  
ので、専門の取付業者にお任せください。
- けむりびこがくるびこ・イルスと連動されている場合は、事前に OSS 監視セ  
ンターへご連絡いただき、連動確認を実施してください。
- くるびこ・イルスと連動している場合でも、「故障警告」「電池切れ警告」「け  
むりびこ無線送信機との接続信号線の断線」、および上記の動作確認(約1秒  
押し)は OSS 監視センターに通報されません。

以下の連動確認を必ず実施してください。

- スイッチを約3秒間長押しする。または引きひもを約3秒間引く。

赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、くるびこ・イルス本体が連動動作した後、 OSS 監視センターから電話連絡があります。

電話連絡がない場合は、けむりびこの外部出力異常か、信号線の異常またはくるびこ・イルス本体の異常が考えられます。 OSS 監視センターにご連絡ください。

- 約1分経過すると、赤ランプが消灯して自動的に終了します。

1分以内に終了したい場合は、スイッチを押すか引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

くるびこ・イルス以外の外部機器と接続した場合も上記の連動確認を必ず実施してください。